

【施工業者の方へ】 欠陥住宅予防検査について確認とお願い

- 1、 図面は「欠陥住宅予防検査必要図面・提出書類」をご確認の上、等事前にお客様にお渡し頂くか、お手数ですが、当会検査担当者まで、郵送をお願いいたします。
- 2、 検査には、監督さんの立ち会いをよろしくお願いいたします、検査日の連絡は出来る限り早めに、依頼者及び当会検査担当者までご連絡ください、検査後の写真、図面等の提出確認は、業者さんと依頼者の間で行ってください。
- 3、 重要、追加検査が必要な場合：深基礎・外部面材耐力壁・内部面材耐力壁・気密工事が有る場合は、お手数ですが、当会検査担当者まで御連絡下さい。
- 4、 重要：検査時に重要な指摘事項が発生した場合に、は再検査を実施いたします。
家づくり援護会が実施する欠陥住宅予防検査において重大な指摘事項は現場で確認することが重要です。
 - ・再検査の実施は依頼者・施工者双方の話し合いによって実施いたします。
 - ・再検査費用の負担については依頼者・施工者どちらが負担するのか決めておくようにしてください。
 - ・検査中又は次回検査で確認できるものは再検査とはいたしません。
 - ・再検査料金：¥5,250(税込み)／h(検査時間及び報告書作成時間)＋交通費

各検査項目について

- * 基礎1回目検査(在来・2×4工法共通)
 - ・建物配置、砕石転圧の確認、主要な基礎の通り、配筋状況の確認、開口廻り補強筋の確認、鉄筋のかぶり、HDアンカーボルトの設置。
- * 基礎2回目検査(在来・2×4工法共通)
 - ・開口廻り補強筋の確認、アンカーボルトの設置、鉄筋のかぶり。
- * 1階床組検査(2×4工法)
 - ・アンカーボルトのズレ及び位置、束及び基礎パッキンの取付状況
土台、根太の寸法、位置及び釘の確認、断熱材、床下の清掃状況。
- * 2階床組・小屋組検査(2×4工法)
 - ・ 1階床壁、2階床壁、設備、防腐・防蟻剤施工状況、補強金物の取付状況
外部耐力壁の確認。
- * 上棟検査(在来工法)
 - ・アンカーボルトのズレ(座金と土台の関係)、束及び基礎パッキンの取付状況
構造材の寸法、位置及び欠損の確認、耐力壁(スジカキ)及び水平補強材の確認
防腐・防蟻剤施工状況、補強金物の取付状況。
- * 外部面材耐力壁検査(在来工法のオプション検査)
 - ・外部面材耐力壁施工状況
- * 雨仕舞検査(在来・2×4工法共通)
 - ・外部建具の取付及び止水状況、下屋・霧除けと外壁の取り合い状況
バルコニーの防水立上り、天端及び、外壁の取り合い状況、断熱材の施工状況
床下地の水平、設備配管状況、設備配管等の外壁貫通部分の止水。
- * 内部面材耐力壁(2×4は必須検査項目)(在来工法はオプション検査)・気密工事検査
 - ・内部面材耐力壁施工状況、気密工事が有る場合は施工状況。